



さんびょう

三錨

ほんき げんき こんき
本気に 元気に 根気よく

よっかいちしりつとみすはらしょうがっこう
四日市市立富洲原小学校学校だより

れいわ ねん がつ にち
令和7年9月20日 NO.7

がっこうきょういくもくひょう みずか かんが こうどう とみすはら こ いくせい
【学校教育目標】 自ら考え、行動する富洲原っ子の育成

ぜんこくがくりよくがくしゅうじょうきょうちようさ けっか 全国学力学習状況調査の結果より

こんかい ねんせいじどう たいしよう じっし ぜんこくがくりよくがくしゅうじょうきょうちようさ じどうしつもんしちようさ
今回は、6年生児童を対象に実施された「全国学力学習状況調査」と「児童質問紙調査」の
けっか ぶんせき あき とみすはらしょうがっこう つよ よわ みな
結果分析から明らかとなった、富洲原小学校の「強み」と「弱み」を皆さんにお知らせします。

こんがっこう ぶんせき じゅぎょう さまざま とりくみ かいぜん はか ほごしや みなさま
今後学校では分析をもとに、授業や様々な取組の改善を図ってまいります。保護者の皆様
におかれましては、ぶんせきけっか こんがっこう がっこう とりくみ め とお かていがくしゅう ていちゃく
生活習慣の改善に向けて、ご協力をお願いします。

こ たち がくりよくこうじょう がっこう かてい ちいき いったい とく たいせつ かんが
子ども達の学力向上には、学校・家庭・地域が一体となって取り組むことが、大切だと考えて
ています。

こくご か 国語科

けっか 【結果】

ぜんたい せいとうりつ ぜんこくへいきん うわまわ
○全体の正答率は、全国平均を上回っており、よくできています。

つよ 【強み】

- ちゅうしん めいかく ないよう だんらく わ だんらくそうご かんけい ちゅうい
中心を明確にし、内容のまとまりで段落を分けたり、段落相互の関係に注意したりして
ぶんしやう か ちから
文章を書く力がついてきています。
- じじつ かんそう いけん かんけい とら しようし はあく
事実と感想、意見の関係を捉え、要旨を把握することができています。
- ぶんしやう なか つか かんじ ただ か
○文章の中で使われている漢字を正しく書くことができます。

よわ 【弱み】

- ▲かんが めいかく しこう じょうほう じょうほう かんけいづ ごく
▲考えを明確にしたり、思考をまとめたりするために、情報と情報を関係付け、語句を
つか ず あらわ にがて
使って図に表すことが苦手です。
- ▲もんたいぶん ないよう せいかく りかい ことばじり とら こた はんだん
▲問題文の内容が正確に理解できていないため、言葉尻だけを捉えて答えを判断する
けいこう
傾向がみられます。

さんすう か 算数科

けっか 【結果】

ぜんたい せいとうりつ ぜんこくへいきん したまわ みえけんへいきん どうとう
○全体の正答率は、全国平均をわずかに下回っており、三重県平均と同等です。

算数科

【強み】

- 棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができます。
- 目的に応じて適切なグラフを選択し、読み取ったことをもとに理由を言葉や数を用いて説明することができます。
- 資料から必要な情報を選び、数量の関係を式に表して計算することができます。
- 平行四辺形の性質をもとに、作図することができます。
- 分数のたし算を、単位分数の考え方を使って言葉で説明することができます。

【弱み】

- ▲表から条件に合った項目を選ぶ問題に課題があります。
- ▲台形の意味や性質・角の大きさの理解が十分ではありません。
- ▲複合図形の面積の求め方を、式や言葉で説明することが苦手です。
- ▲比例の関係を使って、数量を求める問題に課題があります。
- ▲はかりの目盛りの読み間違いが多くありました。

理科

【結果】

- 全体の正答率は、全国平均を上回っており、よくできています。

【強み】

- 「水の温まり方」「電池の回路」「水の流れ」の選択式問題が、よくできていました。
- 実験を通して体験した学習は、知識や理解がしっかり身についています。

【弱み】

- ▲「地球」に関する領域での間違いが多く、課題があります。
- ▲実験結果から考察する問題が苦手です。
- ▲図や文章などの情報量が多い問題において、問題の意図を正確に理解して答えを導き出すことに課題があります。

【今後の学校の取組】

- 全ての教科において、直感的な解答が多く、問題の意図を正確に読み取れていない傾向があります。そこで、授業で自分の考え方を書いたり、説明したりすることを大切にしていきます。また、国語の説明文において、論の進め方や資料活用の良さを学ぶことに力を入れていきます。

- 問題を視覚的にイメージできるよう、授業でグラフやイラスト等を活用していきます。
- 図形や量的な感覚が弱いので、体験的な学習活動を充実させていきます。具体的な操作を行うことにより、論理的に考える力を養っていきます。
- 理科の学習では、今後も実験により体験することを大切にした授業を進めていきます。また、実験結果をもとに考える活動を大切にし、文章化することで事象と事象の関係性をしっかりと捉えることを大切にしていきます。
- たくさんの資料を読み取り、課題に取り組む学習を行っていきます。
- 国語の授業において、文字数や用語等、条件を与えた作文に取り組んでいきます。

児童質問紙調査の結果より

- 朝食・就寝時刻等、規則正しい生活が身についてきています。
- 良好な友人関係を築けている子がたくさんいます。
- 平日に1時間以上家庭学習をする習慣が定着してきています。
- 授業中におけるICT機器の活用が進んできています。
- 「地域社会に貢献していきたい」という思いが育ってきています。
- 話し合う活動により、考えを深め、新たな考え方に気づく学びができています。
- ▲1日の読書時間が少なく、読書嫌いの傾向が見られます。
- ▲総合的な学習の時間において、自分で課題を立て情報整理し発表したり、学級会で、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めたりする学習が少ない傾向にあります。
- ▲国語嫌いの児童が多い傾向にあります。

【今後の取組】

- 自ら学ぶ力につながるよう、家庭学習の内容を工夫していきます。
- 今後も効率的で学びが深まるICT機器の活用を目指していきます。
- 読書週間の取り組みの継続、学級文庫の充実により、読書の定着を目指します。
- 探究や発表をする活動、話し合い活動を大切にした授業を進めていきます。
- 国語の授業づくりを見直し、子ども達が「やってみたい」「わかりたい」と感じる授業を目指します。

今後も、ご家庭でのゲームやスマホ利用のルールを徹底していただき、子ども達が心身ともに健康に過ごせるような生活習慣づくりにご協力ください。

また、子ども達の語彙力、読解力向上のため、家庭で本を読む時間の確保や、親子読書等に取り組んでいただけると大変ありがたいです。

これからも家庭と学校が一体となって子ども達の教育を進めていきたいと考えています。よろしくお願いします。